

項目	主な意見
計画全体	<ul style="list-style-type: none"> ・計画本体が文章やグラフ、概念図ばかりで分かりやすさに欠けていると思うので、写真を掲載する等、分かりやすさに配慮した記載をお願いしたい。 ・介護保険事業計画の策定に有益な情報の提供等、引き続き市町への支援をお願いしたい。
地域包括ケアシステムの深化・推進（介護予防・日常生活支援）	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターが担う役割は市町ごとに異なる。市町職員への周知啓発のほか、各市町にあった生活支援コーディネーターを育成して欲しい。 ・新たに盛り込まれた家族介護者（ケアラー）支援にはしっかりと取り組んでいく必要がある。また、フレイル予防について施策の体系に明記されたが、専門職研修等の既存事業に引き続きしっかり取り組んで欲しい。 ・地域共生社会の理念を分かりやすく伝えていくことが重要。その理念を根幹とする重層的支援体制整備事業も分かりやすく説明するため、注釈を記載して欲しい。
地域包括ケアシステムの深化・推進（基盤整備・医療介護連携）	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症グループホームの分類は地域密着型サービスだが、施設・居住系サービスの基盤整備にも記載があるので、位置付けについて注釈を記載して欲しい。 ・介護老人保健施設の説明文章が分かりづらいので、記載を修正して欲しい。 ・特別養護老人ホームは入所申込が減ってきており、人材確保の難しくなっている。増やしすぎると共倒れの可能性もあるので慎重な整備計画をお願いしたい。
認知症施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症基本法でも地域共生社会の実現を理念としているが、実感としてはまだ認知症の人が阻害されていると感じている。計画に掲げた4つの柱はどれも重要なものであるが、まだ県民の理解が進んでいないと思う。
介護現場の革新（人材確保・生産性向上）	<ul style="list-style-type: none"> ・現場には少しずつだが外国人等の多様な人材が参入してきている。様々な経歴や多様な価値観を持った人間が一緒の場所で働くことになるが、「倫理観」等、介護理念の根幹に関わる部分は大切にしていきたい。 ・介護人材の確保は全国共通の課題である。県がつなぎ役や窓口となる必要があるのではないかと思う。